



日本の宝島“天草”の創造を目ざして！

市政だより

AMAKUSA  
**天草**



### 「児童たちが伝統の“こっばもち”作り」

五和町の鬼池小学校では、鬼池地区の伝統である“こっばもち”作りに平成2年から取り組んでいます。11月30日には、全校児童41人が同校体育館でもちつきを実施。児童たちは、老人クラブやまちづくり振興会会員らの指導を受けながら、昔ながらのきねとうすを使って楽しそうにもちをついていました。できあがった“こっばもち”は、参加者全員でおいしくいただいたほか、地区内の1人暮らしのお年寄り宅を訪問し、手紙を添えてプレゼントしました。

### 主な内容

- 新年あいさつ…………… 2～3
- 丑(うし)年生まれ大集合！新年の抱負… 4～5
- 空き家情報バンクにご登録を！…………… 6
- 「ふるさと応援寄附金」寄附の状況…………… 7
- 宝島の話…………… 8～11
- みんなの広場…………… 12～15

平成21年

**1**

**1**

No.66

# 迎春



## 社会のきずなこそ 原動力

天草市長  
安田 公寛

新年おめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心から喜び申し上げます。さて、天草市が誕生して、この3月で4年目を迎えます。私は平成18年4月の市長選挙時に、「日本の宝島“天草”の創造」を基本理念に50の政策を掲げたローカル・マニフェストを発表し、政策の着実な実現に取り組んできました。今年も、これらの政策を成果という視点でしっかりと捉え、取り組みを進めていかなければなりません。

その一つとして、まずは「社会のきずな」の強さこそが宝島づくりの原動力であること、を再確認し、まちづくり協議会と地区振興会のさらなる活性化と自立への取り組みを引き続き支援していきます。また、広域ネットワーク整備事業など、これまで推進してきた事業が形を現してきます。本市の将来につながるためにも、これらの事業にしっかりと取り組んでまいります。昨年来、100年に1度といわれる世界的不況の波は、本市にも押し寄せています。地場産業の振興や企業誘致、雇用対策は喫緊の課題として、各種政策を効果的に推進していきたいと考えています。天草市としての一体感を醸成し、市民と行政の協働でつくる「日本の宝島」の実現に向け、粉骨砕身、全力をあげて取り組んでまいりますので、今後なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年が、市民の皆様にとりまして幸多い年となりますようご祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

## 日本の宝島を めざして

天草市議会議長  
濱 廣昭

明けましておめでとうございます。平成21年の年頭にあたり、市議会を代表し、謹んでごあいさつを申し上げますとともに、平素の深いご理解と温かいご支援に対し、心からお礼を申し上げます。さて、本市の誕生から、本年3月で3年が経過しようとしております。市政におきましては、『日本の宝島“天草”の創造』に向け、第1次天草市総合計画をもとに各種施策が着実に推進されております。これまで、高度情報化社会

に対応すべく推し進められていた広域ネットワークの整備、各地区振興会の活動支援、交流人口の増加を図るための観光施策や天草グリーンライフコミュニティ事業の展開など、本市の強固な基盤づくりに全市をあげて取り組んでまいりました。

しかし一方では、急激な人口減少や少子高齢化、さらには有害鳥獣による農作物被害の増大、魚価低迷と漁獲量の減少、これに原油高騰が追い討ちをかけて市民経済を直撃し、税収の減少が懸念されるなど、市政における課題は山積しております。

私たち市議会にとりましては、本年が1期4年の集大成となる最後の年でもございませぬ。市民の皆様のご信頼と、その負託を受けた者としての責務の重大さを胸に、本市発展のために全力を傾注してまいりたいと、決意を新たにしております。ごあいさつといたします。

市民の皆様には、本年も、昨年に変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。

— 遠見山・桜木展望所からの眺望 (12月11日撮影) —

市民の皆様  
あけまして  
おめでとうございます



天草市役所  
市長 安田 公寛  
副市長 古田 勝人  
天草市議会議長 濱 廣昭  
副議長 野嶋 健一

議員  
池田 次人  
北野 鋼一  
藤崎 正博  
濱崎 昭臣  
江浦 政巳  
吉川 徳澄  
本田 武志  
大塚 基生  
平石 水穂  
宮下 重康  
楠本 千秋  
中村 五木  
平山 泰司  
脇島 義純  
池田 裕之  
松江 雅輝  
田中 茂  
赤木 武男  
鎗光 秀孝  
中村 三千人  
船辺 修  
蓮池 良正  
若山 敬介  
勝木 幸生  
宮下 幸一郎  
中尾 友二  
古賀 源一郎  
浜崎 義昭

し 新春 企画

# 年生まれ 大集合!

# 丑 新年の 抱負

島田 ハツミさん  
大正14年6月22日生  
(五和町手野)



近所の人たちに恵まれ、同年代の5人でいろんな話をして楽しく暮らしています。これからも、1日1日を有意義に過ごしていきたいです。

桑原 憲一さん  
昭和24年1月16日生  
(御所浦町横浦)



還暦を迎える今年は、家族みんなが笑って暮らせる1年にしたいと思っています。また、いつまでもおいしいお酒が飲めるように、健康に気をつけます。

中濱 静恵さん  
昭和48年11月29日生  
(天草町大江)



性格からして“丑年”という感じではない私。3回目の年女を迎えました。今年の願いも毎年のごとく「家族みんなが元気で過ごせますように!!」

井手尾 峻介さん  
昭和60年12月16日生  
(有明町赤崎)



仕事や消防団活動などで忙しい毎日を送っていますが、時間を見つけて大好きな魚釣りをしたいです。今年こそ大物のスズキを釣り上げるぞ!

大久保 和奈さん  
平成9年2月9日生  
(河浦町新倉)



4月から中学生。小学校3年のときに始めたバスケットボールを、中学校でできないのが残念ですが、陸上部に入って、短距離選手としてがんばります。

宮本 陽二さん  
昭和36年10月18日生  
(五和町二江)



わが子も高校生・専門学校生となり、将来に向けてがんばっています。家族みんなが無事に過ごせ、何事にも一歩前進できる良い年になることを願います。

初田 孝子さん  
昭和12年7月21日生  
(倉岳町棚底)



現役バリバリの漁師です。グラウンドゴルフやゲートボール、大正琴などにも取り組んでいます。今年も、いろんなことに元氣いっぱいがんばります。

岡部 茂さん  
大正14年4月14日生  
(本町下河内)



健康維持のため、1日2回のウォーキングを心がけています。今年も健康に気をつけ、同年代の人たちとの会話を楽しみながら、充実した日々を送りたいです。

山下 マサエさん  
大正2年1月8日生  
(有明町上津浦)



8回目の年女。毎朝、新聞を読むことと、畑仕事をするのが1番の楽しみです。健康に注意しながら、これからも元気で長生きしたいと思っています。

萩山 稜斗さん  
平成9年6月6日生  
(久玉町)



今年は小学校の最上級生なので、学校行事などをがんばり、下級生を引っ張っていきたくです。サッカー部では、どの大会も優勝を目ざしてがんばります。

岩本 真梨子さん  
昭和60年10月22日生  
(新和町大多尾)



昨年は、たくさんの人たちに支えられ、充実した1年を過ごすことができました。今年も、教員採用試験に合格できるよう、精一杯がんばりたいと思います。

高見 弘さん  
大正14年5月2日生  
(天草町下田北)



みかんの木の手入れを生きがいにしています。3人のひ孫たちと楽しく過ごせるように、体力が続く限りがんばりたいと思います。作業後の一杯も…。

菅原 憲子さん  
昭和24年1月2日生  
(栖本町馬場)



昨年は、家庭円満で幸せな1年でした。かわいい孫たちの成長を少しでも長く見守れるよう、今年も健康を第一に考えて、過ごしていきたいと思っています。

荒平 祥稔さん  
昭和48年6月19日生  
(倉岳町浦)



趣味はドライブ。仕事が忙しく遠くまで行けませんが、今年は区切りの年でもあるので、思い切って人生のパートナーを探しに出かけようと思っています。

松村 澤さん  
平成9年10月25日生  
(御所浦町牧島)



御所浦小学校で、バスケットボール部に入っています。今年4月から6年生。県大会に出場できるよう、チームメイトといっしょに練習をがんばります。

尾田 信司さん  
昭和12年3月6日生  
(新和町小宮地)



今は、健康づくりで始めた毎日の散歩と、月2~3回のゴルフが楽しみです。今後は、あまり先のことを考えず、1日1日を楽しく過ごしていきたいです。

松本 浩太郎さん  
昭和60年8月22日生  
(栖本町河内)



溶接工の仕事始めて1年4カ月。忙しい毎日ですが、とても充実しています。今年、栖本町が誇る伝統の“太鼓踊り”に挑戦したいと思っています。

田中 裕美さん  
昭和24年8月27日生  
(牛深町)



健康に気をつけ、趣味の詩吟を楽しみたいです。今年、県のコンクールで優勝できるようにがんばります。夫と営んでいるお店が、商売繁盛しますように。

田中 参次郎さん  
大正2年1月15日生  
(河浦町崎津)



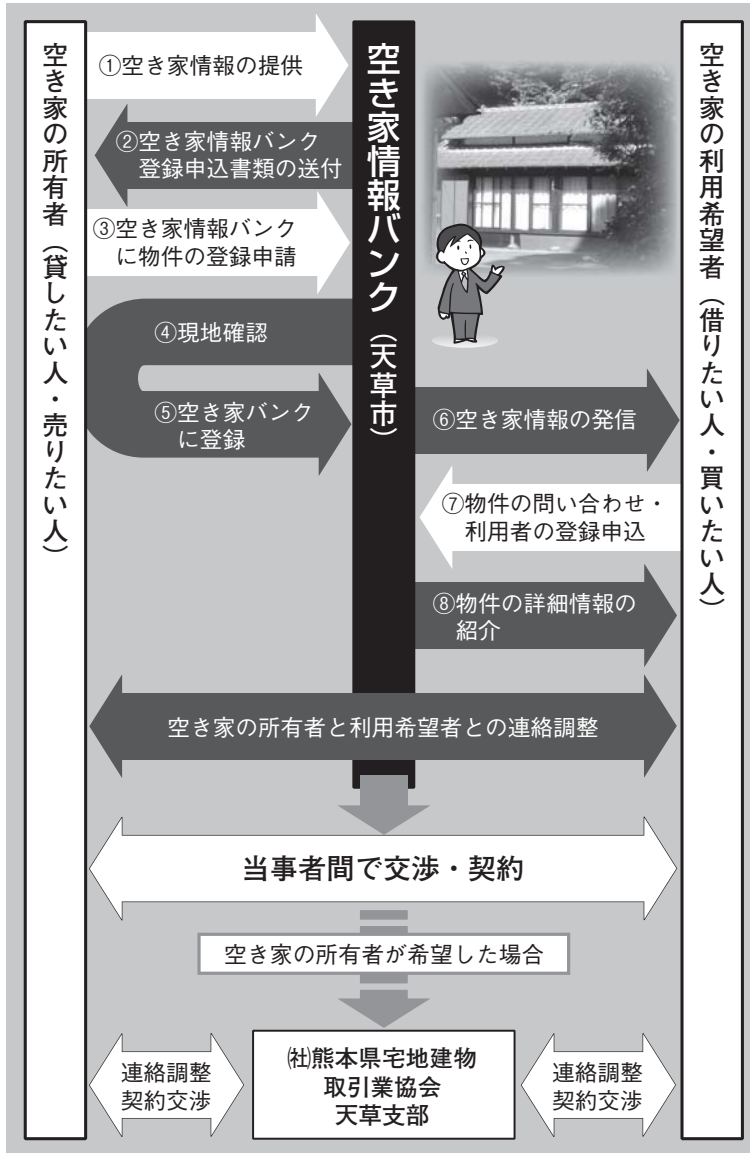
夫婦そろって大正2年1月生まれの子年男年女です。ともにいつまでも元気で、体がじょうぶであるように、風景を楽しみながら散歩に励みたいと思います。

宮崎 真澄さん  
昭和36年10月29日生  
(志柿町)



高校1年と小学校4年の息子2人が、日ごろの会話を通して、私に勇気と活力を与えてくれます。今年も、家族みんなが健康で過ごせることを願っています。

◆「空き家情報バンク制度」イメージ図



# 空き家情報バンクにご登録を!

昨年6月に創設した「空き家情報バンク制度」。これは、天草への移住・定住を希望する人に、市内の空き家情報を提供するために設けたものです。しかし現在、登録物件の数が少なく、情報量がまだまだ不足している状況となっています。空き家の貸し出しが可能な人は、本庁(別館)・農業振興課へご連絡をお願いします。

## ■空き家情報バンクにご登録をお願いします

天草への移住・定住に関する市への問い合わせが最近急増しており、昨年4月からの相談件数が100件を超えました。

これは、団塊の世代の方々の退職が始まり、「退職後は田舎でゆっくり、のんびり過ごしたい」といったふるさ

と帰郷への関心の高まりや、都会での便利な生活から田舎での心豊かな生活を望む若い世代の方々の増加などによるものです。

市などでは、天草への定住や、都市と天草の両方に居住地を持つ二地域居住などにつなげることで、過疎化や高齢化が進む集落(地域)の活性化を図ることを目的に「天草グリーンライフコミュニティ事業」に取り組んでおり、昨年6月には『空き家情報バンク制度』を創設しました(イメージ図参照)。

この制度は、天草への移住・定住を希望する天草島外在住の人に、市内の空き家情報を提供するために設けたものです。しかし、12月12日現在の空き家の利用希望登録者36人に対し、登録物件の数が9件と大変少なく、情報量がまだまだ不足している状況となっています(右下表参照)。

空き家を所有している人で貸し出しが可能な人は、本庁(別館)・農業振興課へご連絡をお願いします。また、市民の皆さんの近所などに空き家

## ■空き家情報バンクにもご登録をお願いします

空き家と同様に、空き地についても「空き地情報バンク制度」を設けています。空き地を所有している人で貸し出しが可能な人は、本庁(別館)・農業振興課へご連絡をお願いします。

※詳しいことは、本庁(別館)・農業振興課都市農村交流係  
☎②31111内線2591  
へお尋ねください。

## ◆「空き家・空き地情報バンク制度」への登録物件の状況(12月12日現在)

空き家	9件
空き地	6件

## ◆「空き家情報バンク制度」による空き家の利用者と利用希望登録者の状況(12月12日現在)

利用者	2家族
利用希望登録者	36人

があるときは、その所有者に声をかけていただくなどのご協力をお願いします。

# ふるさと応援寄附金

## 寄附の状況をお知らせします



「ふるさと納税制度」のスタートを受け、市では昨年6月から『天草市ふるさと応援寄附金』の取り組みを実施しています。同寄附金の募集を開始してから6カ月が経過。これまでに全国各地の皆さんから、たくさんの寄附をいただいています。寄附された皆さん、この取り組みをPRしていただいた市民の皆さんに心から感謝いたします。今後も引き続き、日本の宝島“天草”づくりに向けた同寄附金へのご協力をお願いします。今回は、これまでの寄附の状況などについてお知らせします。

### ■寄附の状況

昨年6月に募集開始した『天草市ふるさと応援寄附金』に、12月12日現在で**109人(116件)・316万3,000円**の寄附をいただいています。メニュー別・地方別の寄附人(件)数と金額は右表のとおりです。皆さんからいただいた寄附金は、指定されたメニューの事業に有効かつ適切に活用していきます。

### ■市民の皆さんへのお願い

『天草市ふるさと応援寄附金』の取り組みをより多くの人に知ってもらうため、市民の皆さんからも引き続き、市外にお住まいの親戚や知人の皆さんなどにPRしていただきますよう、ご協力をお願いします。なお、寄附をするためには事前に申し込みが必要です。申込書は、電話などで本庁・財政課へ請求していただくか、市のホームページから取得していただくことになります。

### ◆メニュー別の寄附件数と金額

<b>1</b> “天草の宝”『地域コミュニティづくり』	・10のまちづくり協議会と51地区振興会への支援・補助……………	<b>69件・204万3,000円</b>
<b>2</b> “天草の宝”『安心して元気に暮らせる環境づくり』	・高齢者などの体力・健康づくり事業や、安心して子どもを生み育てる環境づくり事業など……………	<b>12件・43万2,500円</b>
<b>3</b> “天草の宝”『将来を担う子どもづくり』	・少人数学級の推進や特別支援学級への補助教員の設置事業、学校図書館の活性化事業など……………	<b>6件・7万7,000円</b>
<b>4</b> “天草の宝”『若者が安心して働ける産業づくり』	・企業誘致促進事業や担い手育成支援事業など……………	<b>8件・8万500円</b>
<b>5</b> “天草の宝”『拠点づくり』	・市役所本庁舎の建設事業（平成27年度をめぐりに建設を予定）……………	<b>2件・2万5,000円</b>
<b>6</b> 市長おまかせコース	・特に事業の指定がない場合は、市長が必要と認める事業に活用……………	<b>19件・50万5,000円</b>

### ◆地方別の寄附人数と金額

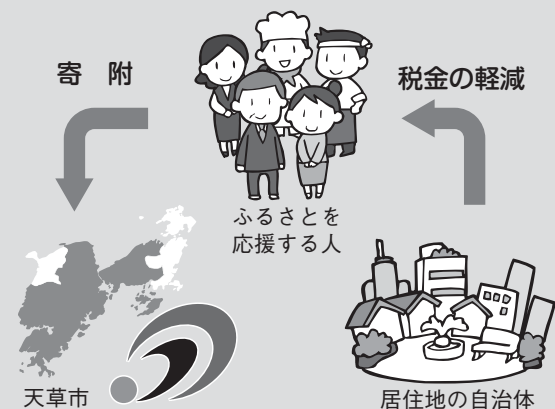
地方名	人数	金額
北海道・東北	1人	5,000円
関東	33人	125万5,000円
関西	38人	90万円
中国・四国	3人	2万5,000円
九州(熊本県内を除く)	17人	43万8,000円
熊本県内	17人	54万円

### 一口メモ ふるさと納税制度とは

ふるさと納税制度とは、「ふるさとを応援したい」「ふるさとの発展に貢献したい」と思われる皆さんが、出身地などの地方自治体（都道府県・市区町村）に寄附をした場合に、寄附金の5,000円を超える部分について、居住地の住民税（所得割）のおおむね1割を限度に、所得税と翌年度に課税される住民税から税額控除されるものです（右イメージ参照）。

なお、法人が寄附をした場合は、法人税を算定される際に、寄附金の全額を損金に算入できます。

### ◆ふるさと納税制度のイメージ



【問い合わせ先】 本庁・財政課財政係 ☎1111内線1363



▲人権の花の種子を風船に付けて、空高く飛ばしました。「みんなに届くといいな！」

**命を大切に育てる**

～「人権の花」運動～

11/27

御所浦

「人権の花」運動のイベントが11月27日、御所浦北小学校で開かれました。この運動は、花の栽培を通して、人権や生命を大切に育てることを目的に行われているものです。当日は、昨年4月に人権の花の種子の贈呈を受けた後、児童たちが育てた花から採取した種子と、児童のメッセージを風船に付けて空高く飛ばしました。また、人権の花発表会も行われ、児童たちが「花を育てた感想」や「命を育てることへの思い」などについて発表しました。



▲キャンドルを手に、澄んだ歌声を披露する子どもたち

**冬の夜に澄んだ歌声を披露！**

～幼稚園児らがキャロリングを実施～

11/28

牛深

11月28日、愛隣幼稚園の園児と卒園児・計26人がひと足早く、恒例の「キャロリング」を牛深町内で実施しました。キャロリングとは、クリスマスの喜びを歌声にして、多くの人たちに届けようというものです。子どもたちは冬の夜空の下、牛深ハイヤ大橋の周辺などでキャンドルを手に「きよしこの夜」「もろびとこぞりて」「うれしいうれしいクリスマス」などを斉唱。澄んだ歌声を披露し、道行く人々や保護者などから大きな拍手が送られていました。



▲ポスターを手渡し、「火の用心」を呼びかける園児たち

**戸締まり用心、火の用心！**

～保育所の園児たちが防火パレードを実施～

11/10

有明

11月10日、赤崎保育所・幼年消防クラブの園児30人が「防火パレード」を実施しました。これは、秋季全国火災予防運動にあわせて行われたものです。「火の用心」と書かれたはっぴに身を包んだ園児たちは、「戸締まり用心、火の用心！」と曲に合わせて元気に歌い、拍子木を打ち鳴らしながら、赤崎地区内を練り歩きました。また、園児らが作った「火の用心」を呼びかけるポスターを、同地区内の各事業所の従業員らに手渡しました。



▲各家庭の自慢料理を約500人が試食

**天草の家庭の味に舌鼓！**

～うまか天草ん家庭料理大集合～

11/30

五和

天草産の食材を使った家庭料理を集めた「うまか天草ん家庭料理大集合」が11月30日、総合交流ターミナル施設ユメールで開かれました。これは、地域に根ざした特産品開発を目ざして、五和まちづくり協議会が初めて実施したものです。会場には約120品の家庭料理が並び、試食会に参加した約500人は各家庭の自慢料理に舌鼓を打っていました。同協議会では、出品料理の調理法などをまとめたレシピ集を販売中です。詳細は五和支所・総務振興課 ☎ 1111へ。



▲「栖本河童軍団」がひょっこり披露！

**栖本河童軍団が親睦・交流に一役**

～関西ふるさと栖本会総会～

11/16

栖本

関西ふるさと栖本会の設立20周年を記念した総会が11月16日、大阪市内のホテルで開かれました。総会には、大阪市や神戸市などに在住で栖本地区出身の会員ら190人と、本市から安田市長など23人が出席。井上澄男・同会会長や安田市長などがあいさつした後、栖本河童軍団18人がユーモラスなひょっこり披露を披露し、訪れた会員らを楽しませていました。また、参加者は久しぶりの再会に大喜びのようすで、ふるさと談義に花を咲かせていました。



▲大盛況だった「大根の袋詰め放題」

**“大根の袋詰め放題”など各種催しを実施**

～碓石ふるさと祭り～

11/30

新和

11月30日、「第31回碓石ふるさと祭り」が碓石公民館一帯で開催されました。当日は、金婚夫婦表彰の伝達や古希祝い、農産物品評会の表彰などが行われた後、子ども相撲や奉納相撲大会を実施。地元のバンドグループによる演奏や、舞踊愛好会の踊りも披露され、観客から大きな拍手が送られていました。また、碓石地区振興会が生産している土着菌を使って同公民館に隣接する畑で栽培された大根の袋詰め放題が行われ、多くの人出でにぎわっていました。



▲色鮮やかな緋扇貝は、贈答品などとして喜ばれています

**色鮮やかな特産品・緋扇貝**

～「緋扇貝」の出荷が最盛期～

11月中旬～

河浦

河浦町の羊角湾で育った「緋扇貝」の出荷が11月中旬から始まり、富津地区にある4つの生産組合は、出荷作業で活気にあふれています。この貝は、ホタテに似た2枚貝で、甘みのある貝柱が特徴。刺し身やバター焼き、酒蒸しなどで楽しめます。また、黄や赤、紫など色鮮やかな貝殻は、装飾品として利用されています。去年は天候に恵まれ、身の成長具合がとても良いとのこと。1月中旬まで、贈答用などとして市内外に出荷・販売されています。



▲42.195kmの完走を目前に、一斉にスタート！



▲フルマラソン男子で優勝した富田誠至郎選手 ▲天草路を走りながら選手を激励する松下龍治選手



▲選手の激励に訪れた瀬古利彦氏と安田市長 ▲トークショーで熱弁をふるう瀬古利彦氏と松下龍治選手



▲牛深高校郷土芸能部の顧問などがハイヤの伝承活動について事例発表しました



▲大物のタイを釣り上げる参加者

## 富田誠至郎選手(新和町)がフルマラソン男子優勝！ ～天草マラソン大会～

第3回天草マラソン大会が11月23日、本渡運動公園陸上競技場前をスタート・同競技場をフィニッシュとするコースで開催されました。県内唯一のフルマラソン(日本陸上競技連盟公認コース)とハーフマラソンを行うこの大会には、県内外から過去最多の1,434人(フル849人・ハーフ585人)が参加。フルマラソン男子では、市内新和町の富田誠至郎選手が2時間32分20秒で初優勝を果たしました。また、参加した選手たちは冷たい潮風を受けながら秋の天草路を力走。S&B食品(株)スポーツ推進局長で世界的なマラソンランナーとして活躍した瀬古利彦氏や、本市出身で富士通(株)陸上競技部の松下龍治選手、安田市長も参加し、選手たちを激励していました。

大会前日には、瀬古氏と松下選手のトークショーがJA本渡五和本店で開かれ、市民ランナーなど約200人が参加。箱根駅伝の思い出や試合前の調整法などについてユーモアを交えながら話され、参加者は熱心に聞き入っていました。

●成績結果(1位のみ。敬称略)…フルマラソン女子・國友恵美子(熊本市)、ハーフマラソン男子・近藤寛光(宮崎県)、同女子・蛭原奈津恵(宮崎県)。

## ボランティアの輪を広げよう！

～第3回火の国ボランティアフェスティバル天草～

11月29・30日、「火の国ボランティアフェスティバル」の天草大会が天草島内で開かれました。これは、平成17年10月に熊本県内で全国ボランティアフェスティバルが行われたのを機に、ボランティアの輪を広げようとしたものです。29日には、天草市民センターなどで福祉・環境・観光・文化のテーマ別に4つの部会が開かれ、市民など約3,000人が参加。文化部会では、ハイヤの伝承活動などについての基調講演や事例発表などが行われました。

## 大物のタイに大歓声！

～牛深あかね市～

12月1・2日、「第19回牛深あかね市」が牛深ハイヤ大橋横芝生広場一帯で開催され、約2万人の観光客らが訪れました。同市の一大イベント「あかねタイ釣り大会」には約1,500人が参加。初日は、この冬1番の寒さとなりましたが、大物が釣り上がると大歓声があがり起こっていました。また、牛深ハイヤ保存会や地元の中高生による牛深ハイヤ踊りが披露されたほか、いきいきマーケットでは、新鮮な水産物などを買い求める人たちがでにぎわっていました。



▲レストランのオープン前日に開かれた試食会で膳に舌鼓を打つ招待客



▲にぎわいを見せる競り。「それ、200え～ん」



▲きれいにメイクアップした参加者の皆さん



▲会場に訪れた人も、もちつきを体験！

## 天草産の食材を使った薬膳料理を提供 ～「ふるさと薬膳・凧」がオープン～

12/4～  
本渡

12月4日、「ふるさと薬膳・凧」(レストラン)が下浦町金焼地区にオープンしました。これは、NPO法人グリーンライフあまくさが取り組んでいる天草グリーンライフコミュニティ事業の、地域資源を活用した起業支援活動の一つとして整備したもので、同地区の主婦らでつくる「かねやき食と農を考える会」が運営。天草産の旬の食材を使い、体調に合わせてメニューを選べる5種類の膳などを提供しています。詳細はふるさと薬膳・凧 ☎ 7311へ。

## 実りの秋、芸術の秋を堪能

～下田南地区文化祭～

12/6・7  
天草

「下田南地区文化祭」が12月6・7日、下田南公民館で開かれました。これは、同地区振興会が実施しているもので、今年で16回目。この文化祭では、大正琴や舞踊の披露、小学生の学習発表などが行われたほか、会場には野菜や手芸品などさまざまな「自慢の一品」がずらりと並び、来場者の目を楽しませていました。また、出展された野菜などが競りにかけられると、金賞・銀賞に選ばれた品を競り落とそうと、必死に声をあげる参加者でにぎわっていました。

## いつまでも、きれいで明るい笑顔で

～おばあちゃんのメイクアップ講座～

12/9  
倉岳

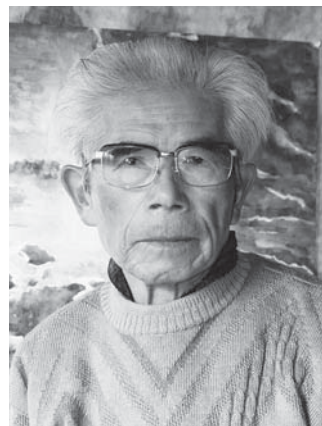
いつまでも明るい笑顔で元気に過ごしてもらおうと12月9日、「おばあちゃんのメイクアップ講座」(宮田公民館主催)が倉岳漁村センターで開かれました。当日は宮田地区のおばあちゃん23人が参加。メイクアップ専門学校の講師からお肌の基礎知識などの説明を受けた後、化粧品を使ってメイクアップに挑戦。参加した皆さんは、どんどんきれいになる顔を見て「いつもは顔を洗うだけ。これを機に毎日化粧します」と笑顔いっぱい話していました。

## もちつきの音 響き渡る

～歳末助け合いもちつき祭り～

12/14  
本渡

本渡勤労青少年ホーム・だるまの会が12月14日、「歳末助け合いもちつき祭り」を中央銀天街のスマイルパークで開きました。だるまの会は、同ホームの利用者で組織する会で、利用者間交流やボランティア活動などを行っています。当日は、昔ながらの「きね」と「うす」を使ってもちつきを実施。師走の銀天街にもちつきの音が響き渡り、道行く人ももちつきを体験していました。つきあがったもちを訪れた人たちに販売され、益金は共同募金へ寄付されました。



宝島の健康  
よさず屋

丸満 満人さん  
(五和町二江・81歳)

—— 毎日の楽しみは？  
水彩画を描き始めて55年。作品は、各種美術コンクールに年数回、出展して

います。構図や配色などを考え、ペンや筆を握ることが毎日の楽しみです。

—— 健康の秘訣は？

35年間続けているラジオ体操で1日が始まり、水彩画制作のため天草の各地へ足を運ぶなど、充実した日々を送っています。また、老人会や美術展のスタッフを通じ、社会奉仕活動を続けています。今まで、退屈と思った日は1日もありません。



若っ喝采

中下 雄作さん (河浦町白木河内・24歳)

社会福祉協議会(河浦支所)に勤務して5年目。地域住民の皆さんに温かく接していただき、楽しく、充実した日々を送っています。

今の1番の楽しみは、昨年9月に生まれた息子の顔を見ること。子どもの笑顔は、私を癒してくれます。自分も育ったこの天草で子育てできることを、うれしく思っています。

新春特別企画 宝島クイズ

全問正解した人の中から抽選で40人に、すてきな景品をプレゼントします。皆さんのご応募をお待ちしています(応募は本市に住所がある人に限り、1人1通まで)。

【問1】市ではインターネット上に“ある駅”を構築し、昨年3月、一部のサービス提供を開始しました。ある駅とは次のどれでしょう？

- ①Webの駅 ②道の駅 ③海の駅

【問2】昨年6月に創設した「空き家情報バンク制度」に12月12日現在、何件の“空き家”が登録されているでしょう？

- ①6件 ②9件 ③36件

【問3】天草エアライン(株)が昨年9月に就航させた新たな路線は、天草・熊本とどの都市を結んでいるでしょう？

- ①名古屋 ②大阪 ③神戸

【問い合わせ先】本庁・秘書課広報広聴係(内線1208)

- 景品=①神戸便往復航空券…1人②福岡便往復航空券…2人(以上天草エアライン(株)提供)③ポンカン5kg…5人(JA本渡五和提供)④デコポン3kg…2人⑤ポンカン5kg…3人(以上JAあまくさ提供)⑥五多幸すとらっぷ…6人(有明町商工会提供)⑦シモン芋製品セット…3人(櫛くらたけ提供)⑧へのかっぱストラップ…3人(栖本まちづくり協議会提供)⑨特産品詰め合わせ…3人(市物産振興協会提供)⑩Tシャツ…7人⑪タオル…5人。

■応募方法=ハガキにクイズの答え(3問とも)、住所、氏名、年齢、電話番号、市政だより天草へのご意見・ご感想を記入し、1月13日(必着)までに、〒863-8631(住所記載不要)天草市役所・秘書課へ郵送してください。なお、当選者は2月1日号の市政だより天草に掲載します。

みんなの



広場

英会話を楽しみ  
活発な行動ができる児童を  
志柿小学校

志柿小学校(原田洋一郎校長・全校児童47人)では、入学式や卒業式の会場を彩るための花いっぱい運動や、ALT(外国語指導助手)や社会人講師による英語活動、地域の催しで披露する合唱の練習などに積極的に取り組んでいます。中でも、英語活動は平成18

ぼくのわたしの学校生活 自信



最後の運動会で、地域住民の皆さんと記念撮影!

だんだん! 赤崎小学校

赤崎小学校

有明町の中心部に位置する赤崎小学校(村岡直校長・全校児童49人)では、地域に根ざした教育活動を展開しています。

校舎は、昭和30年に建築された天草初の鉄筋コンクリート造りで、完成から53年が経過した現在も、児童たちの学びの場として、また、地域住民のきずなの証として大切に使われています。

「子どもたちの教育環境をより良くしたい」という保護者や地域住民の皆さんの総意で、自主的な学校の統廃合に向けた取り組みが行われ、今年4月、隣接する浦和小学校に統合します。児童たちは、校舎への感謝の気持ち(だんだん)を持ちながら、閉校の日を迎えてくれるものと思っています。

自然の中での活動で  
「生きる力」育てる  
椎の実保育園

楠浦町にある椎の実保育園(濱田直園長・全園児75人)では、「わたしはわたし、でもわたしはみんなの中のわたし」を実現できる「生きる力」を育てるため、自然に触れ合いながら思いやりの心とたくましい身体の育成を目ざしています。

園内には、水と土を利用する大型遊具などを設置。園児たちはそれらの遊具で、泥んこになり、ときにはけんかをしても仲直りしながら、元気に楽しく遊んでいます。また、本園から約1km離れた、自然の中での遊びや冒険などを体験できる「原始わんぱく村」では、川遊びや木登り、キャンプなどを通して、危険を回避する能力を身につけるようにしています。



自然の中で元気いっぱい遊ぶ園児たち

こころびつーまれ



笑顔や目の輝きが絶えない子どもたちでいてね!

1人ひとりの可能性を引き出すために

観音保育園

観音保育園(福本康博園長・全園児45人)では、子どもたち1人ひとりが持つ可能性を伸ばすことや、感謝の気持ちを「ありがとう」と笑顔で言える素直な子どもを育てることを目標としています。

平成19年4月からは、『心の力・学ぶ力・体の力』を引き出す保育を実施。本読みや書き取り、計算、かけっこ、体操、とび箱、音楽(鍵盤ハーモニカでの演奏)などを行い、子どもたちも楽しそうに取り組んでいます。子どもたちが持つ力(可能性)には目を見張るものがあり、今後の成長と将来が本当に楽しみです。いつまでも、笑顔や目の輝きが絶えない子どもたちでいてほしいと願っています。



英語活動でインドの民族衣装の説明を受けました





# きら 煌めく人たち

「御所浦ならではの触れ合いの場を提供したい」

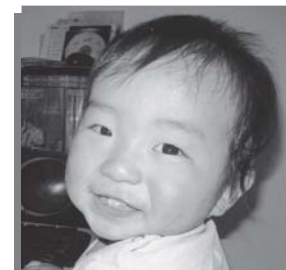
山口陽子さん（御所浦町牧島・24歳）

御所浦町にある通信制・単位制の勇志国際高校で、イルカの飼育員として勤務。同校では、さまざまな悩みなどを持った生徒たちに癒しの場を提供しようと、平成18年2月からイルカを飼育している。山口県宇部市出身。小学校5年生のとき、福岡市内の水族館へ行き、「きれいな瞳にひかれて」イルカ好きに。その後、親に頼んで何度も水族館へ連れて行ってもらううちに、「イルカと触れ合える仕事があった」と思うようになった。

高校卒業後は日本文学科のある大学に進学。しかし、夢をあきらめきれずに中退し、イルカのトレーナー専攻のある専門学校へ進んだ。その後、「飼育しながらイルカの良さを伝えられる、自分にうってつけの職場」と平成18年4月、勇志国際高校に就職した。同校では、昨年3月に就職した飼育員と2人で、イルカ「カイくん」の健康管理や運動のほかに、生徒たちにカイくんやイルカと触れ合わせたり、イルカに関する話をするなど、充実した毎日を送る。「カイとの触れ合いに喜ぶ生徒たちの姿を見るとやりがいを感じます。また、えさを与えられるようになるなど生徒たちの成長を見るのも楽しみ」と笑顔で話す。「今後はさらに勉強を重ね、2人で協力しながらカイを立派に育てたい。そして、カイを通して生徒たちに本校をより一層、好きになってもらえれば」。そのためにも、「大自然と人の優しさあふれる御所浦でしかできない、イルカと生徒たちの触れ合いの場をつくり提供していきたい」。優しい瞳から強い決意を感じた。

「今後さらさら勉強を重ね、2人で協力しながらカイを立派に育てたい。そして、カイを通して生徒たちに本校をより一層、好きになってもらえれば」。そのためにも、「大自然と人の優しさあふれる御所浦でしかできない、イルカと生徒たちの触れ合いの場をつくり提供していきたい」。優しい瞳から強い決意を感じた。

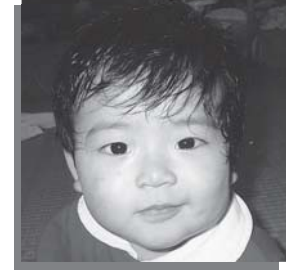
## ★ハッピーバースデー★ 1歳になります



**荒木 大智くん**  
北原町  
平成20年1月7日生  
父・隆文さん 母・真由美さん  
だいちくん大好き♡  
元気な男の子に育ってね!!



**猪口 聖菜ちゃん**  
五和町城河原二丁目  
平成20年1月2日生  
父・健之さん 母・多恵さん  
せなスマイルにみんな元気をもらっています。お姉ちゃん大好き♡



**谷山 愛佳ちゃん**  
新和町大多尾  
平成20年1月22日生  
父・幸一さん 母・由美子さん  
つかまり立ちが大好きです。  
早く歩けるようになりたいな!



**福田 琉喜くん**  
五和町二江  
平成20年1月28日生  
父・敦さん 母・幸子さん  
笑顔&食べっぷり最高!!  
みんな大好きだよ♡



**宮本 秀斗くん**  
五和町御領  
平成20年1月7日生  
父・透さん 母・久美さん  
わが家のアイドル!! みんなかわいがってくれてありがとう♡



**岩田 アイリちゃん**  
城下町  
平成20年1月23日生  
母・江身子さん  
アーちゃん、いつもありがとう♡  
アイリはわが家の宝物です♡

**2月で満1歳になるお子さんを募集します!**  
●応募期限=1月13日(必着)。  
●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は6人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

「かがっぱ」を生かしたまちづくり  
天草が動く  
地域が動く  
人が動く  
地域づくり  
コーナー

栖本町の中心部を流れ、飲用水や農業用水の源となっている河内川。栖本地区には、この川に「かがっぱ」がいたとされる言い伝えが残っています。栖本まちづくり協議会では、この「かがっぱ」を生かしたまちづくりを展開しようと、各種の取り組みを実施。その一つが、日本一の「親子かがっぱのモニュメント」の建設。まちのシンボルにしようと、町内の全世帯に寄付を呼びかけ平成19年11月に建立しました。

また、人生楽しくおおらかに、何があってもへの「かがっぱ」をキャッチフレーズに、陶器製の「へのかがっぱストラップ」を同年8月に販売。地元有志が一つ一つついでにねいに手作りして製作しており、好評を得ています。

その後、同20年4月にへのかがっぱ第2弾となる「お守り」を、8月に第3弾「和菓子」へのかがっぱ「巻き」を販売。これらの収益金は、新たな特産品の開発に役立てています。

今後、1人ひとりが生き生きと暮らせるまちを、生き生きと「かがっぱ」を生かしたまちづくりに地域住民一丸となって取り組んでいきます。

栖本町の中心部を流れ、飲用水や農業用水の源となっている河内川。栖本地区には、この川に「かがっぱ」がいたとされる言い伝えが残っています。栖本まちづくり協議会では、この「かがっぱ」を生かしたまちづくりを展開しようと、各種の取り組みを実施。その一つが、日本一の「親子かがっぱのモニュメント」の建設。まちのシンボルにしようと、町内の全世帯に寄付を呼びかけ平成19年11月に建立しました。

また、人生楽しくおおらかに、何があってもへの「かがっぱ」をキャッチフレーズに、陶器製の「へのかがっぱストラップ」を同年8月に販売。地元有志が一つ一つついでにねいに手作りして製作しており、好評を得ています。



▲平成19年11月に、栖本のシンボルとなる日本一の「親子かがっぱのモニュメント」を建立



新和病院  
院長 濱崎 豊

### 病院局だより

新和病院は、本渡地区から主要地方道・本渡牛深線を南方へ約12km、新和町の福祉ゾーンと呼ばれる「日だまりの里」内にあります。

このゾーンには、当院と併設の保健センターや、特別養護老人ホーム、デイサービスセンターなどもあり、すべての施設が一体となって、地域住民の皆さんの医療や介護、検診などを行っています。

私は、今から22年前の昭和62年に赴任しましたが、当時の新和病院は施設の老朽化が進んでおり、経営も赤字続きで、非常に厳しい状態にありました。しかし、医師2人を先頭に、職員みんなが力を合わせて努力したことで、5年ほどで経営を立て直すことができました。

に緊急蘇生を施しながら送ったところ、無事元気になって帰って来られたときは、大変うれしく思いました。

微力ではありますが、1人でも2人でも、私たちの治療や看護により、患者さんが元気になってくださればと思っています。

新和病院  
これまで、何人もの重症患者さんを診断し、本渡地区の病院へ送りました。急性心筋梗塞の患者さんが、搬送中の救急車の中で心臓が停止してしまいましたが、必死がありましたが、必死に緊急蘇生を施しながら送ったところ、無事元気になって帰って来られたときは、大変うれしく思いました。

微力ではありますが、1人でも2人でも、私たちの治療や看護により、患者さんが元気になってくださればと思っています。

できました。

その後、平成9年に現在地へ新築移転し、保健・福祉と連携した療養型病院として開院しました。現在、内科医2人、小児科医1人と、週に1回、整形外科の医師に来ていただき、診療をしています。が、当院でも医師が不足している状態です。その一方で、入院病床は常に満床状態が続く、病床利用率は95%以上となっています。

これまで、何人もの重症患者さんを診断し、本渡地区の病院へ送りました。急性心筋梗塞の患者さんが、搬送中の救急車の中で心臓が停止してしまいましたが、必死がありましたが、必死に緊急蘇生を施しながら送ったところ、無事元気になって帰って来られたときは、大変うれしく思いました。

微力ではありますが、1人でも2人でも、私たちの治療や看護により、患者さんが元気になってくださればと思っています。

【編集発行】

熊本県天草市役所  
総務部秘書課広報広聴係  
〒863-8631 天草市東浜町8番1号  
TEL 0969-23-1111  
FAX 0969-22-7016  
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>  
E-mail [hisyoka@city.amakusa.lg.jp](mailto:hisyoka@city.amakusa.lg.jp)



謹賀新年。年末にグラウンドゴルフを体験。ねらいを定めて打つものの…。隣チームの人が打つとホールポストに1打で入りホールインワン。そして次の人も。日ごろの練習の成果が現れている証拠。今年の抱負は「何事も一つ一つの積み重ね」。皆さんの抱負は？【空】

市内各所でイルミネーションなどが光り輝き、まちを美しく彩っています。私の場合、検査のため口からカメラ付きのイルミネーションを飲み込む始末。感動ではなく、苦痛に涙を流しながら内臓で光を堪能。ただ、何も異常がなく度数高めめの聖水で清めました。【凡】

新年おめでとうございます。昨年の世相を表す一字は「変」。私自身にとっても何だか「変」な1年でした。特に体調面で原因不明の高熱やギックリ腰になる始末。新年を迎えるたびに思うこと、それは「1年間無事に健康で過ごしたい」。皆さんも健康で良い1年を！【走】

今年の今年、私の注目は何と言っても野球の国際大会「WBC」。日本が優勝した前回大会では、熱戦の連続に一喜一憂。先日発表された第1次候補選手には、米国と日本で大活躍中の選手がずらり。2連覇の期待大です。WBCは3月開催。「モ～、待てません」。【松】



レンズの奥に見える  
**宝島のキャンパス**



“天草産のデコポン”収穫・出荷の最盛期

Vol.35  
本町本

本市の代表的な特産品である“デコポン”。11月中旬から2月上旬にかけて、市内の各所で収穫作業が行われています。本渡地区の本町でハウスの加温栽培を手がけている倉田政幸さん（＝写真）は、「今期のデコポンは玉太りが良く、糖度もまずまず」と笑顔で話していました。

デコポンは、ハウスの加温栽培、屋根掛けハウス栽培、露地栽培の順に収穫。東京や大阪などに出荷され、高値で取り引きされています。



「鬼塚古墳と出土遺物」(河浦町)

鬼塚古墳は、羊角湾に突き出た河浦町今富地区の鬼塚鼻にあります。昭和56年に旧河浦町教育委員会が発掘調査を実施し、天草では珍しい北部九州型の横穴式石室を持つ円墳であることや、築造年代が6世紀後半から7世紀始めごろであることなどが明らかになりました。

また、同古墳からは埴瓶さげべと呼ばれる水筒の形をした須恵器や、水晶製の切子玉など貴重な遺物が出土。「鬼塚古墳」と「出土遺物」は市文化財に指定しています。

出土した遺物は現在、天草コレジヨ館に展示しています。皆さん、ぜひご覧ください。



◀ 鬼塚古墳から出土した遺物の一部